

●初めて京都府の年末支援運動に参加

京都府が、コロナの影響を受けて年末年始に困窮されているご家庭に支援物資を届けたいからと、交響プロジェクト交付団体に協力を呼びかけられました。私たち里山の会は日頃里山農園で栽培している生産物を、できるだけ社会貢献をしようと田辺府営団地での朝市に取り組んできました。決して営業や儲けを狙いにしてきてはなかったのです。このつながりを生かして、府営団地の連合自治会さんに趣旨を説明すると快く協力がいただけることになりました。里山の会としては、支援物資をお渡しするご家庭がわからないというのが大きな壁でしたが、連合自治会の協力が得られことで実行できることになりました。連合自治会の事務局が28日に御用納めとなるので、その午後にその方々に物資を受け取りに来た頂くことにして、当日に間に合うように物資を用意しました。しかし開始時間前に2名がお越しになりましたが、残り3名の方が来られるはずが来られないので直接戸別訪問して配布しました。京都府山城振興局から里山の会がこうした行動をしていただくなどとは驚きですと、直接激励に2名もお越しになって激励をいただきました。物資を受け取っていた皆さんは非常にお喜びになっておられました。

●来る年こそコロナの心配なく

今年はコロナの影響で、何もかも特に里山の会が計画したイベントは屋外で三密防止が比較的行いやすい環境でしたが、社会の常識として無理をせずに実行しなければならないきゅうくつな取り組みばかりになりました。新春の七草摘み、春の野草を食する会や里山音楽会などは中止せざるを得なくなりました。魚とりは何としても実行しようと可能性を探り、1回だけ実行しました。カヌー体験はコロナが収まってきた11月23日になってしまい、天候の関係で大変厳しい中でしたがなんとか実施でき、参加した皆さんに喜んでもらえました。大変苦しい1年でした。来たる新年こそと期待していますが、オミクロンで全国でも注目される京田辺市ですので、どうなることやらと思います。

●来年への期待をこめてつくりました

玉虫も オオムラサキも 丸山に 丸山に 童たち登り降りて はしゃぎけり ずぶぬれで草刈り進めるサッカー部 草刈って 初春迎える 教育棟 極寒や ロゼット姿で 春迎え

●里山の会の年末の終い行事は「尾根筋ハイキングコース」の清掃行動

2005年にセブンイレブン社から助成金を受けてオープンした「尾根筋ハイキングコース」の清掃行動を行いました。これまでは数人の理事を中心にして苦労しながらゴミ拾いを行ってききましたが、今年は新しく子どもたちやお母さんたちもやってみようと15名の団体に膨れ上がる、驚きの状態になりました。ベテランの森島さん、有田さん、播川さんがガイド役を担って先導いただき、総延長7.5km 30分の全コースを清掃していただきました。特に今年は天気が良くて、見通しが効き、これ迄は目にすることが全くなかった大阪市の景色が飛び込んできたとのことでした。京都府の周囲は5つの府県と接していて、三つの府県が接する三国峠と呼ばれ所がありますが、その一つがこのコースに出てきます。また不整合地という日頃あまり耳にすることもない地形も目にすることができる学習コースでもあります。16年





前にこのコースを、100m テープで全コースを測定するなどして設定しました。このコースには京田辺市の最高峰 311m の千鉾山と、305m の第2位の高さの高ヶ峰があります。ちなみに京田辺市の甘南備山は高さ第三位で 211m です。三角点も千鉾山と高ヶ峰と、もう1ヶ所が登山口近くにあり、3つの三角点を踏破できます。

●綺麗になった里山農園をご覧になってよい活用アイデアを

里山農園で様々なイベントを実行してきていますが、年末にこれまで手の付けられなかった丸山が同志社大学のサッカー部員 22 名が草刈りボランティアとして、素晴らしい景観に調べていただきました。この場所をどのように活用すべきかと頭を悩ましています。このまま春を迎えると6月頃には元の木阿弥に戻ってしまうこと明白ですので、その対応策、そして経費も安くと望んでいます。一度綺麗になった里山農園をご覧になってよい活用アイデアを提案いただきたいと思います。

●12月26日里山農園では「しめ縄づくり」行いました。

しめ縄づくりには、朝日新聞の記者の方もお孫さんを連れて参加され、翌朝の記事にいただきましたので紹介します。今年は皆さん、特に上手に作られていました。



しめ縄作り体験
「難しく楽しい」
京田辺
京田辺市のNPO法人「やましろ里山の会」が26日、市内でしめ縄作りのイ

ベントを開き、親子ら約20人が参加したII写真。柔らかいもち米のわらを使い、大村幸正理事長(80)らに教えてもらって2時間ほどで完成させた。同市大住ヶ丘から母親と参加した小学3年生、ヴァルディー・ひめなさん(9)は「わらをねじって縄にするのが難しくて楽しかった」と話した。

(甲斐俊作)

●それでは皆様、来年こそ力いっぱい活躍できることを願って。良い年をお迎えください。

里山の会 理事一同